

施設名	岡山県生涯学習センター
施設所在地	岡山市北区伊島町3丁目1番1号

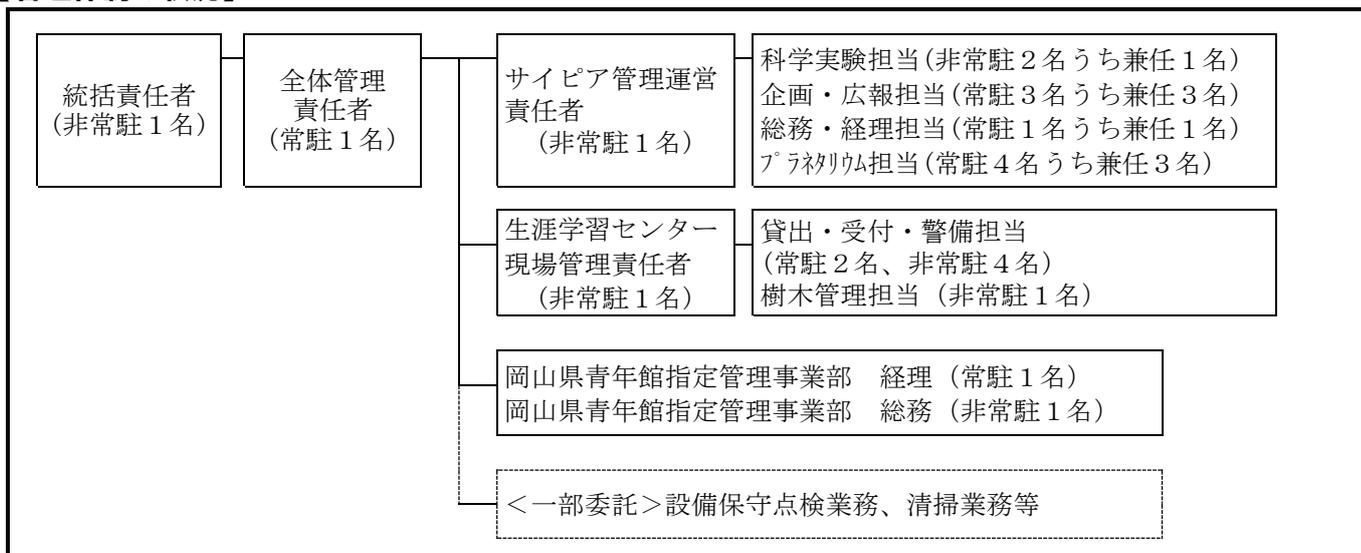
【指定管理者の概要】

名称	一般財団法人岡山県青年館	代表者	代表理事 牧野 康平
所在地	岡山県岡山市北区津島東一丁目4番1号		

【指定管理の概要】

指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	報告期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターの施設等の維持管理に関すること。 生涯学習センターの施設等の利用の許可に関すること。 人と未来の科学館サイピアの運営に関すること。 		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

		施設等の利用(件)	投影の観覧(人)	合計(件、人)
許可件数	5年度	3,367	31,343	34,710
	4年度	3,188	35,250	38,438
	増減	179	△3,907	△3,728

【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設等の維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 清掃業務 昇降機維持管理業務 空調設備保守業務 樹木管理業務 遊具保守点検業務 その他施設・設備保守点検業務
施設等利用許可業務(4月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> 受付、総合案内、監視・巡回業務 施設等の利用許可(3,367件) 〔主な内訳〕ミーティング室6室1,486件、大研修室292件等 プラネタリウム投影の観覧(31,343人)
自主企画事業	サイエンスショー、工作教室等 7,458人

【利用料金の収入及び減免の状況等】

		施設等利用料	投影の観覧料	合計
収入額		9,484,900	5,269,130	14,754,030
利用件数		3,367	31,343	34,710
減免額		4,344,930	2,584,440	6,929,370
減免理由	県が主催・共催した事業、学校教育活動等			

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		5年度	対前年度増減額	4年度	備考
収入額 A		92,946,051	4,500,585	88,445,466	5年度収入額 その他の主なもの ・預金利息 193円
内 訳	指定管理料	73,194,000	5,444,000	67,750,000	【主な増減内容等】 (収入) 指定管理替えによる指 定管理料の増 5,444,000円 プラネタリウム観覧料 の減 △997,460円 両立支援助成金の減 △285,000円 (支出) 正規職員の増加に伴う 人件費の増 10,507,529円 委託費の減 △1,081,377円 プラネタリウムの映像 変更に伴う使用料の増 870,000円
	利用料金収入	14,754,030	△590,920	15,344,950	
	事業収入	4,997,828	△67,688	5,065,516	
	その他	193	△284,807	285,000	
支出額 B		93,672,935	10,247,358	83,425,577	
内 訳	人件費	43,500,282	10,507,529	32,992,753	
	管理運営費	42,880,586	△1,791,433	44,672,019	
	事業費	7,292,067	1,531,262	5,760,805	
	その他	0	0	0	
収支額 A-B		△726,884	△5,746,773	5,019,889	
県への納入金		—	—	—	
実質的な県負担額		73,194,000	5,444,000	67,750,000	

【特記事項 (管理運営業務の実施状況の点検結果)】

点検項目	区分	特記事項 (評価すべき点・改善すべき点)
管理 運営 状況	①適切な施設 管理の履行	B 事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守 状況	B 関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B 危機管理マニュアルに基づき、適切な管理・運営が履行されていた。
	④財産の適切な 管理	B 施設・設備の破損・紛失はなく、保守管理等が適切に履行されていた。また、プラネタリウムの定期的な点検を行うとともに、緊急時の対応のため、機材のメーカー等との連携を密にしている。
導入 効果	①利用状況	C 施設貸出数及び施設利用者数はコロナ前の水準へ回復傾向にあるが、サイピアについては隣接する太陽の丘公園の遊具を使用禁止にして以降、利用者数が減少傾向となった。 【利用者数】 センターR5:65,946人←R4:58,907人 (R元:66,097人) サイピアR5:87,951人←R4:98,410人 (R元:94,054人)
	②収支状況	C 維持管理費等の経費削減に努めたが、人件費の上昇等により、収支状況は悪化した。
	③サービス向上	B 自主企画事業や利用者アンケートを実施し、サービス向上に努めた。
管理運営業務全般	B 協定書及び事業計画書に基づき、適切な管理業務がなされ、サービス向上の取組も実施されていた。	

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。